

生徒会による被災地支援

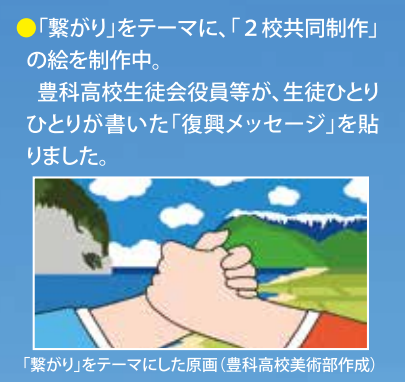
大人を巻き込んで
高校生が繋がった



生徒会長の土屋隼さんが、飯田高校(石川県珠洲市)と直接連絡を取り、両校生徒会が協働して被災地の高校生支援企画を決めました。



●飯田高校生徒会による講演会は、副会長のビニールハウスでの避難生活や、困難な避難所生活でも先輩たちは大学受験を乗り越えたこと等、被災した高校生の視点からリアルな体験談が紹介されました。発表の最後には、この被災経験から獲得した「防災のいろは」を、私たちに伝えてくれました。



●「繋がり」をテーマに、「2校共同制作」の絵を制作中。
豊科高校生徒会役員等が、生徒ひとりひとりが書いた「復興メッセージ」を貼りました。

3×6mの残り半分を飯田高校が完成させ、同校文化祭で展示



●両校文化祭で復興ブースを立ち上げ、各地域の特産品を販売、利益を飯田高校に寄付。

Q 被災地支援のきっかけは？

今年元日、とにかく被災地に向いて高校生を笑顔にしたいと、1月2日には「ボランティアしたい」と安曇野市役所に電話していました。

修学旅行で訪れた広島平和記念資料館での強い落ち込み体験から得た「命の尊さへの記憶」がエネルギーになったからだと思っています。

Q 被災地に行って伝えたいことは？

早く忘れない悲惨な記憶を伝えてくれたことへの感謝と、語ってくれた体験談について家族と話し合い、防災意識を高められたことを伝えます。全校生徒ひとりひとりのメッセージカードを貼って制作した2校コラボ作品です。その想いが届くことを願っています。

Q 何を学んだか？

生徒会顧問の先生方のサポートで、先を見据える力を身に付けることができたと思います。豊科高校の先生方は私たち生徒の想いを親身に受けとめてくれます。先生との強い信頼関係という環境があったから実現できた、授業だけでは得られない学びだったと思います。

昨年行われた「中信地区高等学校探究フェスティバル」で評価された2つの取り組みを紹介しましょう。

総合的な探究の時間での取り組み

堀内 奈苗さん(3年)は、

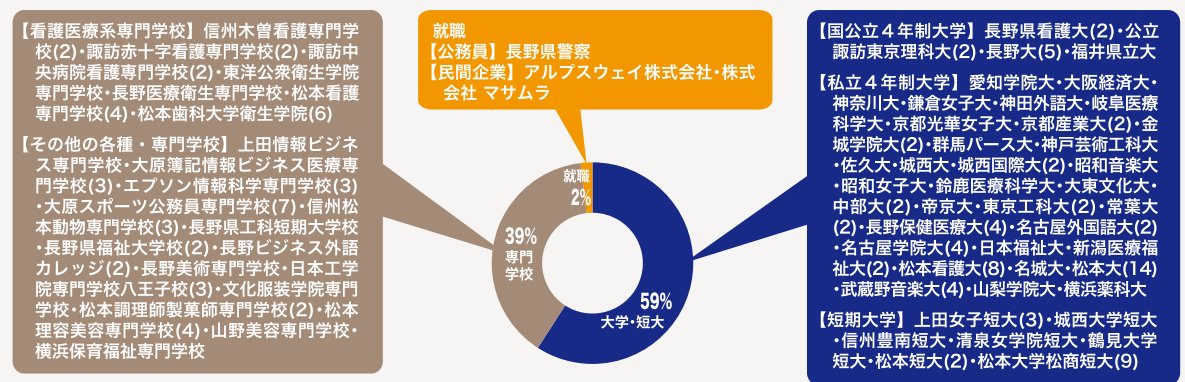
大好きな水生生物を守るために、「海無し県からでも取り組める海洋保全対策」を提案しました。河川を汚す生活排水の削減に向け、実験を通して市販の油吸取フィルターの有効性を示唆、具体的な生活排水からの油除去が水生生物を守り美しい海を守ることにつながるとアピールしたことが評価されました。

平林 巧真さん(3年)は、

祖母の認知機能低下をゲームで改善できるか調査。オセロや脳トレゲームは集中力や記憶力向上に効果的で、高齢者と若者が一緒にゲームをすることで会話が生まれ、より頭を使い、世代を超えた交流促進に役立つ可能性があると考えました。ゲームが高齢者と若者の架け橋になるとの提案が評価されました。



令和5年度 卒業後の進路先



卒業生からのメッセージ

生徒会と部活動の経験 富樫 衣晏さん (信州大学 進学)

豊科高校で得た学問的基盤、そして生徒会と部活動での経験が、志望校合格に繋がりました。生徒会での役職経験はリーダーシップと責任感を養い、部活動では協調性やチームワークを学びました。これらの経験が志望校の入試でアピールできる要素となり、学問的基盤と合わせて総合的な能力を証明できました。

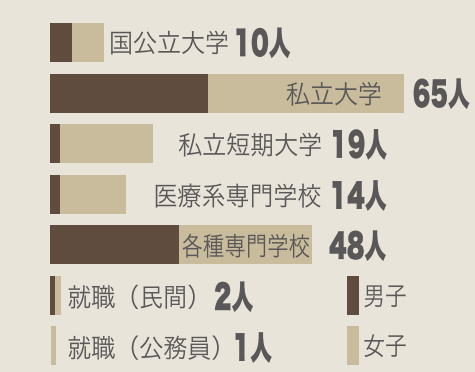
志望校は、学業だけでなく主体性や協調性も重視していたため、生徒会と部活動の経験が合格に大いに寄与しました。

コツコツと頑張る 竹田 明世さん (長野大学社会福祉学部 進学)

高校2年の夏、運命を変える出会いがありました。それは、児童福祉士という仕事の存在です。困っている子どもたちのために、資格を取りたいという強い思いが芽生えました。長野大学を選んだ理由は、国家試験対策と実践的な学びの充実です。大学受験に向けて定期考査や部活動に全力で取り組み、JRCの部活では積極的に福祉活動に参加しました。努力の甲斐あって、総合型選抜で合格を果たしました。

後輩には一生懸命部活動をやったり、しっかり授業を受けたり等、当たり前のことが役に立つことがあるので、何事もコツコツと頑張る大切さを伝えたいです。

令和5年度 卒業後の進路



看護師になる夢 佐藤 愛里沙さん (長野県看護大学 進学)

高校2年生の3学期に看護師を志しました。将来的な目標を明確にし、3年生の1学期から計画的に準備を始めました。志望校合格を目指し、自己申告書、面接、小論文という試練に立ち向かい、特に小論文対策は早めにスタートし、先生に添削していただき、知識と表現力を磨きました。新聞やインターネットも活用し、教養を深め、英語では、基礎固めと長文読解に注力。過去問を解き、先生からアドバイスを受けながら、間違えたところをくり返し復習し克服しました。自己申告書には、具体的なエピソードを通して、「患者さんに寄り添える看護師になりたい」という熱い想いを込めました。面接対策では、質問集を分析して模擬練習を繰り返し、病院で開催された模擬面接も経験し、本番の雰囲気になれました。

早めの準備と、後悔のない受験生活で、夢に向かって頑張ってください!

力を磨き、AO面接にも挑戦しました。筆記試験では基礎固めが重要です。難しい問題も基礎があれば解ける可能性があります。また、部活や生徒会活動など、高校生活を全力で取り組むことが自信にもなり、二次面接の時にはアピールすることができました。

私の経験から、夢を叶えるためには基礎固めと全力で取り組むことが大切だと思います。高校生活は限られています。後悔のないように、全力で楽しんで頑張ってください!

JR 大糸線南豊科駅から東へ徒歩7分
国道147号線「本吉町」交差点より東へ70m

長野県豊科高等学校
〒399-8205 長野県安曇野市豊科 2341 番地
TEL 0263-72-2151 FAX 0263-71-1151
http://www.nagano-c.ed.jp/toyoko
mail: toyoshina-hs@pref.nagano.lg.jp



入学後の費用	
入学時	
入学科	5,650円
1学年費 入学時納入	50,000円
タブレット代	40,000円～60,000円程度
毎年度	
学校徴収金	
PTA会費・クラブ会費・生徒会費	17,500円程度
学年費 1・2年次	50,000円程度
3年次	30,000円程度
授業料(就学支援金受給対象者除)	118,800円
教科書代	7,000円～10,000円程度
その他	
旅行積立	70,000円程度



令和7年度 学校案内
長野県豊科高等学校